

承認願

使用材料名 : RC-30

工事名

工事番号 第 号

河川・路線名

工事場所

請負金額

請負者

株式会社北部碎石

〒707-0045

岡山県美作市巨勢1313

TEL 0868-72-3618



岡 建 試 第 K - 28 号

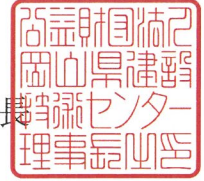
令 和 6 年 7 月 5 日

株式会社 北部砕石 殿

〒701-1201岡山市北区首部294-7

公益財団法人

岡山県建設技術センター理事長



骨材試験結果通知書

令和 6 年 4 月 24 日付けで下記のとおり、貴社（者）から依頼のありました品質試験を実施した結果は、別紙のとおりですので通知します。

記

1. 工 事 名	販 売 用
または用途	
2. 工 事 場 所	岡山県美作市巨勢
または産地	
3. 規格・材質等	RC-30
	[産業廃棄物処分量の許可；有]
4. 試 験 項 目	粗骨材の密度・吸水率試験 (JIS A 1110)
	路盤材料のふるい分け試験 (JIS A 1102)
	粗骨材の単位容積質量・実積率試験 (JIS A 1104)
	粗骨材のすりへり試験 (JIS A 1121)
	粗骨材の安定性試験 (JIS A 1122)
	路盤材料の液性限界・塑性限界試験 (JIS A 1205)
	路盤材料の修正 C B R 試験 (JIS A 1211)

注1) 本書は、依頼のありました上記4. の試験項目について、品質試験の結果を通知するものであり、試験依頼者の記入内容（上記1.～3.）について証明するものではありません。

注2) 品質試験は、試験依頼者から提出された供試品により実施しております。

注3) 本書は個別ページ単独では使用できません。

受付番号

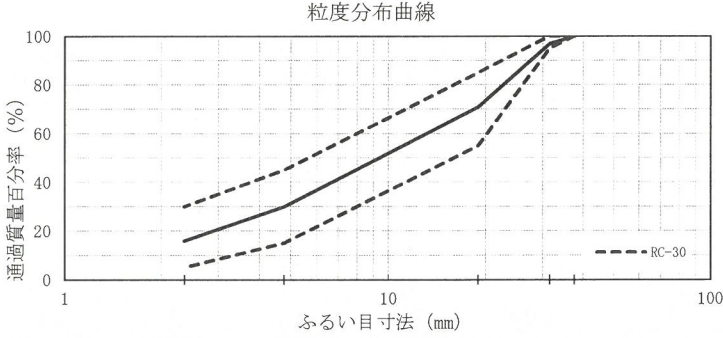
K - 28

路盤材料試験結果総括表

担当者	
-----	---

受付番号	K-28
試験日	令和6年7月5日
種別	RC-30
産地	岡山県美作市巨勢
依頼者名	(株)北部砕石

公益財団法人
岡山県建設技術センター

密度・吸水率試験	表乾密度 D_s	2.41 g/cm^3
	絶乾密度 D_d	2.31 g/cm^3
	吸水率 Q	4.18 %
ふるい分け試験	<p>粒度分布曲線</p> 	
	粗粒率 $F.M.$	6.33
単位容積質量・実積率試験	単位容積質量	1.67 kg/l
	実積率	72.3 %
すりへり試験	すりへり減量	23.5 %
安定性試験	損失質量	31.3 %
液性限界・塑性限界試験	液性限界 W_L	21.0 %
	塑性限界 W_P	NP %
	塑性指数 I_P	NP
修正CBR試験	最大乾燥密度 ρ_{dmax}	1.96 Mg/m^3
	最適含水比 W_{opt}	4.3 %
	修正CBR (締固め度95%)	47 %
備考		

骨材の密度及び吸水率試験

(JIS A 1110)



受付番号 K-28

試験日 令和6年7月5日

種別 RC-30

産地 岡山県美作市巨勢

依頼者名 (株)北部砕石

公益財団法人
岡山県建設技術センター

測定番号	(1)	(2)	平均
① 表乾状態の試料質量 m_1 (g)	3150.2	3150.3	
② 試料+かごの水中質量 m_2 (g)	2206.9	2203.2	
③ かごの質量 m_3 (g)	362.7	362.7	
④ 試験温度 T (°C)	17	17	
⑤ 試験時の水の密度 ρ_w (g/cm ³)	0.9988	0.9988	
⑥ 表乾密度 D_s (g/cm ³)	2.41	2.40	2.41
⑦ 絶乾密度 D_d (g/cm ³)	2.31	2.31	2.31
⑧ 乾燥後の試料質量 m_4 (g)	3023.6	3024.2	
⑨ 吸水率 Q (%)	4.19	4.17	4.18

備考

$$\text{⑥} = (\text{①} \times \text{⑤}) / (\text{①} - (\text{②} - \text{③})) \quad \text{⑦} = (\text{⑧} \times \text{⑤}) / (\text{①} - (\text{②} - \text{③}))$$


$$\text{⑨} = (\text{①} - \text{⑧}) / \text{⑧} \times 100$$

1.

2.

骨材のふるい分け試験

(JIS A 1102)

担当者	
-----	---

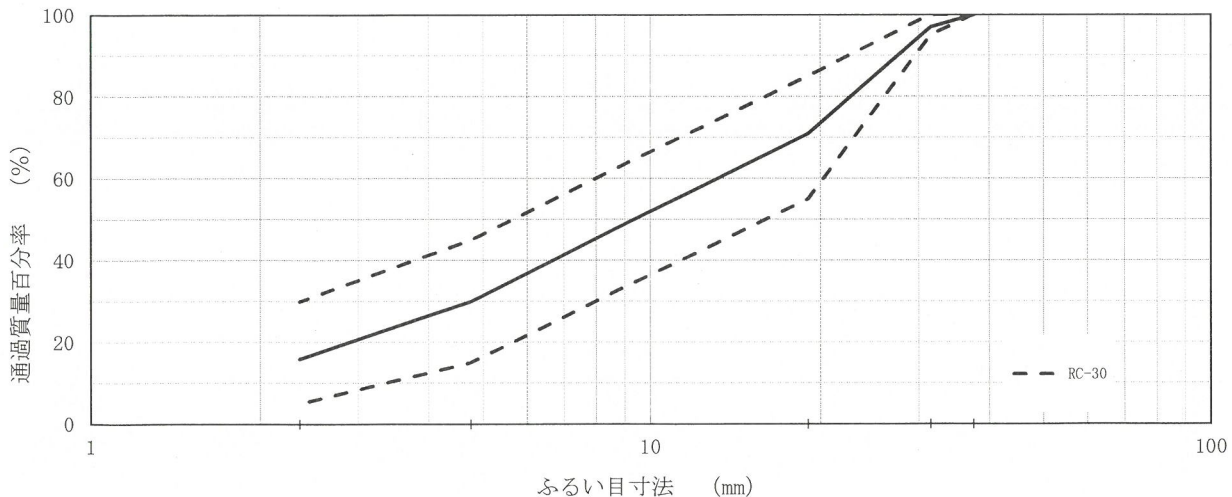
受付番号	K-28
試験日	令和6年7月5日
種別	RC-30
産地	岡山県美作市巨勢
依頼者名	(株)北部砕石

公益財団法人
岡山県建設技術センター

ふるい目寸法	各ふるい残留量		累加残留量		通過率
	質量 (g)	百分率 (%)	質量 (g)	百分率 (%)	百分率 (%)
106 (mm)					
* 75.0					
63.0					
53.0					
* 37.5	0	0	0	0	100
31.5	442	3	442	3	97
26.5					
* 19.0	4,092	26	4,534	29	71
16.0					
13.2					
* 9.5					
* 4.75	6,568	41	11,102	70	30
* 2.36	2,184	14	13,286	84	16
* 1.18					
* 600 (μm)					
425					
* 300					
* 150					
75					
受皿	2,472	16	15,758	100	0
合計	15,758	100			
F. M.	6.33				

備考 機械ふるいによる。注) 粗粒率(F. M.)は、*印の累加残留百分率を加えて100で割ったもの。

粒度分布曲線



骨材の単位容積質量・実積率試験

(JIS A 1104)

担当者	
-----	---

受付番号 K-28

試験日 令和6年7月5日

種別 RC-30

産地 岡山県美作市巨勢

依頼者名 (株)北部砕石

公益財団法人
岡山県建設技術センター

測定番号	(1)	(2)	平均
① 容器の容量 (ℓ)	9.982	9.982	
② 全質量 (kg)	21.324	21.356	
③ 容器の質量 (kg)	4.643	4.643	
④ 差引質量 (kg)	16.681	16.713	
⑤ 単位容積質量 (kg/ℓ)	1.67	1.67	1.67
⑥ 実積率 (%)	72.3	72.3	72.3

参考事項

単位容積質量 = ④ ÷ ①

実積率 = ⑤ ÷ G × 100 G = 骨材の絶乾密度

骨材のすりへり試験

(JIS A 1121)

受付番号 K-28

試験日 令和6年7月5日

種別 RC-30

産地 岡山県美作市巨勢

依頼者名 (株)北部砕石

担当者



公益財団法人
岡山県建設技術センター

① 粒度区分	C
② 球の数 (個)	8
③ 回転数 (回)	500
④ 試験前試料の質量 (g)	5,000
⑤ 1.70mmフルイ残留量 (g)	3,824
⑥ すりへり減量 (%)	23.5

備考

$$\text{すりへり減量} = (\text{④} - \text{⑤}) \div \text{④} \times 100$$

骨材の安定性試験

(JIS A 1122)

担当者	
-----	---

受付番号	K-28
試験日	令和6年7月5日
種別	RC-30
産地	岡山県美作市巨勢
依頼者名	(株)北部砕石

公益財団法人
岡山県建設技術センター

各群の粒径範囲		ふるい分け試験		試験前の各群の質量	試験後の各群の質量	各群の損失質量百分率	全体損失百分率
留るふるい	通るふるい	残留質量 (g)	質量百分率 (%)	(g)	(g)	(%)	(%)
(mm)	(mm)						
26.5	37.5	1,872	17	1,504	777	48.3	8.2
19.0	26.5	2,662	24	1,010	696	31.1	7.5
16.0	19.0	1,450	13	756	443	41.4	5.4
9.5	16.0	2,586	23	502	367	26.9	6.2
4.75	9.5	2,532	23	303	250	17.5	4.0
合計		11,102	100				31.3

備考

液性限界・塑性限界試験

(JIS A 1205)

担当者	
-----	---

受付番号	K-28
試験日	令和6年7月5日
種別	RC-30
産地	岡山県美作市巨勢
依頼者名	(株)北部砕石

公益財団法人
岡山県建設技術センター

液性限界試験

落下回数	14	19	23	27	32	36
含水比						
容器番号	111	121	126	266	129	120
m a (g)	33.3	32.2	31.8	35.1	32.8	33.5
m b (g)	31.5	30.6	29.9	33.1	31.1	31.8
m c (g)	23.1	23.2	21.3	23.9	22.9	23.3
w (%)	21.6	21.3	21.1	20.9	20.6	20.5

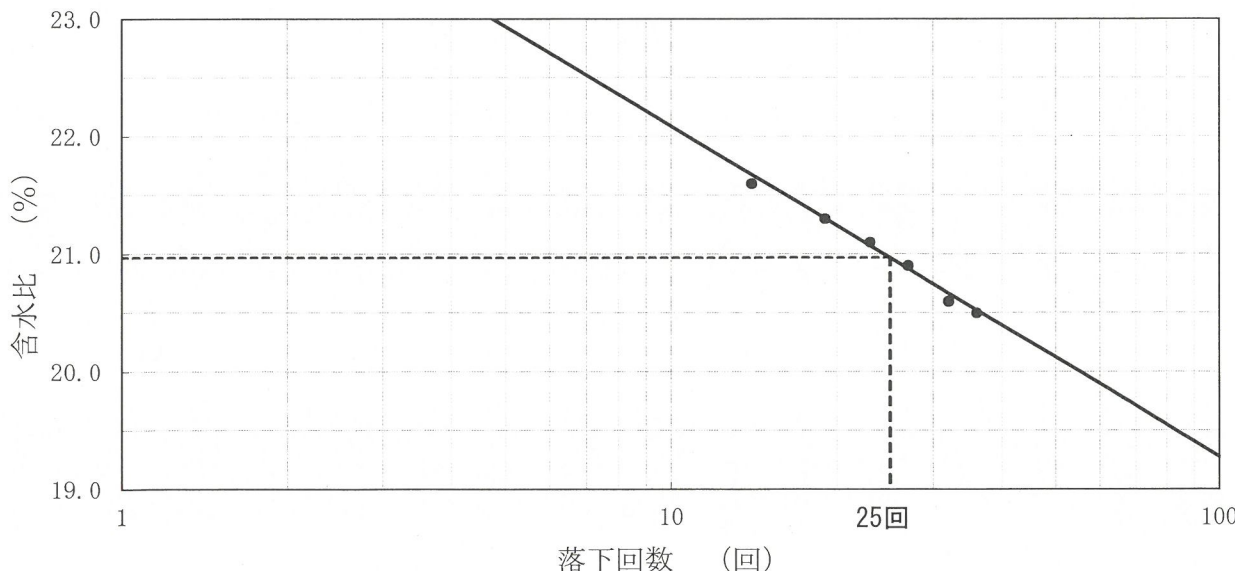
塑性限界試験

3mmのひも状にならず試験不能

含水比			
容器番号			
m a (g)			
m b (g)			
m c (g)			
w (%)	N P	N P	N P

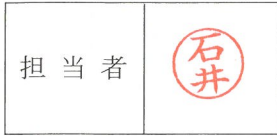
試験結果	液性限界 W_L	塑性限界 W_P	塑性指数 I_P
	21.0 %	N P %	N P

流動曲線



路盤材料の修正CBR試験

(JIS A 1211, 日本道路協会「舗装試験法便覧」による)



受付番号	K-28
試験日	令和6年7月5日
種別	RC-30
産地	岡山県美作市巨勢
依頼者名	(株)北部砕石

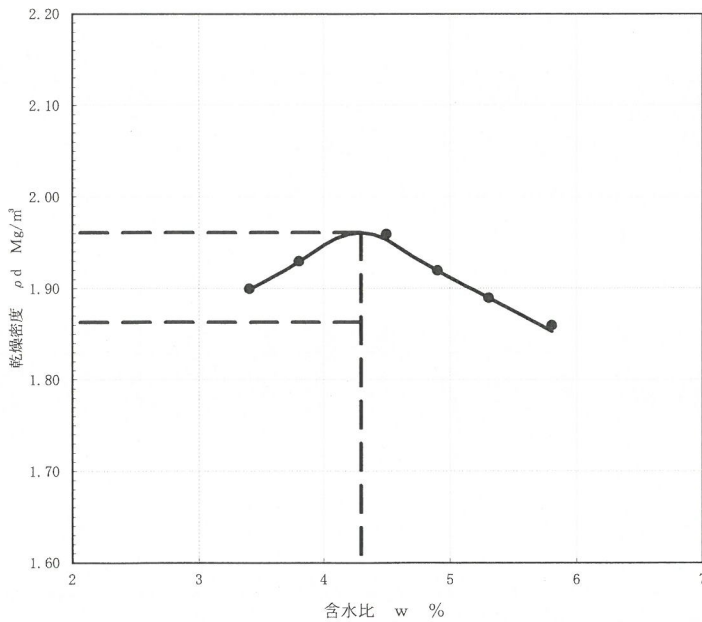
公益財団法人
岡山県建設技術センター

試験方法	締固めた土	ランマー質量	4.5	kg
突固め方法	E	落下高さ	45	cm
試料の準備方法	空気乾燥法	突固め回数	92 (突固め試験)	回/層
試料の使用方法	非繰返し法	突固め層数	3	層
試験条件	水浸	モールド内径	15	cm
		モールド容量	2,209	cm ³

測定番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
湿潤密度 ρ_t Mg/m ³	1.96	2.00	2.04	2.02	2.00	1.97			
乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	1.90	1.93	1.96	1.92	1.89	1.86			
含水比 w %	3.4	3.8	4.5	4.9	5.3	5.8			

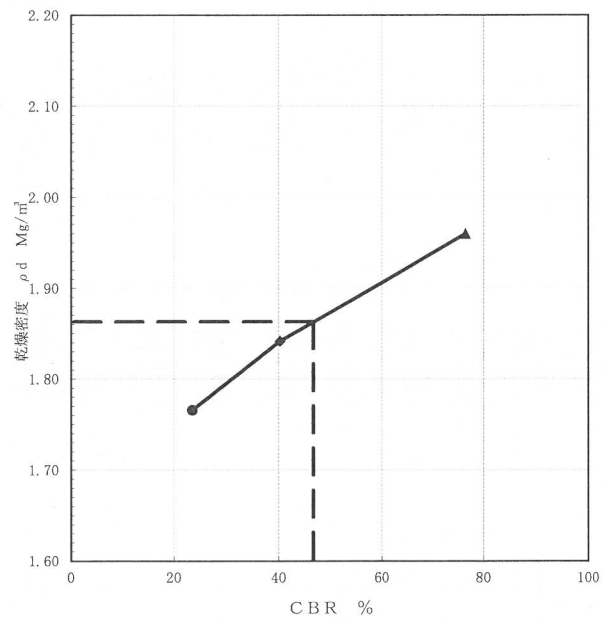
供試体番号	1			2			3		
突固め回数	17回 (3層)			42回 (3層)			92回 (3層)		
試料の含水比 %	4.3			4.3			4.3		
乾燥密度 ρ_d Mg/m ³	1.77	1.76	1.77	1.85	1.84	1.84	1.96	1.96	1.96
平均値 ρ_d Mg/m ³	1.77			1.84			1.96		
荷重 2.5mm kN	2.47	2.48	2.41	4.59	4.02	3.55	8.92	6.26	7.71
貫入量2.5mmのCBR %	18.4	18.5	18.0	34.3	30.0	26.5	66.6	46.7	57.5
荷重 5.0mm kN	4.62	4.88	4.56	8.99	7.80	7.20	16.9	12.9	15.9
貫入量5.0mmのCBR %	23.2	24.5	22.9	45.2	39.2	36.2	85.0	64.8	79.7
CBR %	23.2	24.5	22.9	45.2	39.2	36.2	85.0	64.8	79.7
平均値 %	23.5			40.2			76.5		
最大乾燥密度 ρ_{dmax}	1.96 Mg/m ³			締固め度 95%			1.86 Mg/m ³		
最適含水比 w_{opt}	4.3 %			修正 CBR			47 %		

乾燥密度-含水比曲線



●乾燥密度-含水比

乾燥密度-CBR曲線



●-17回 CBR ◆-42回 CBR ▲-92回 CBR



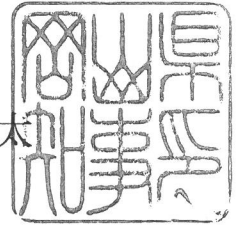
岡山県エコ製品認定証

岡山県循環型社会形成推進条例（平成 13 年岡山県条例第 77 号）第 27 条第 1 項の規定により、認定を受けた岡山県エコ製品であることを証する。

岡山県北部砕石事業協同組合 殿

令和 2 年 3 月 3 0 日

岡山県知事 伊原木 隆太



品 目 名	再生骨材
製 品 名	再生砕石 (RC-30、40)
製 品 の 用 途	路盤材、裏込材、基礎材、埋戻材
認定の有効期間	令和 7 年 3 月 3 1 日
循 環 資 源	コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊
製 造 加 工 場 の 所 在 地	美作市巨勢1247-16
そ の 他	

※県は、製品の価格、用途及び特性並びに工事の施工条件を総合的に勘案して岡山県エコ製品を優先的に使用するよう努めます。

許可番号 第03329105606号

産業廃棄物処分業許可証

住所 岡山県美作市巨勢1313番地
名称 株式会社北部砕石
代表取締役 杉山 忠夫

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第14条第6項の許可を受けた者であることを証する。

岡山県知事 伊原木 隆太



許可の年月日 令和6年2月16日

許可の有効年月日 令和11年2月15日

1. 事業の範囲

(1) 事業の区分

中間処理 (破碎)

(2) 取り扱う産業廃棄物の種類

破 砕：がれき類 (アスファルト廃材及びコンクリート廃材に限り、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を除く。) 以上1種類

2. 事業の用に供するすべての施設

(1) 種 類：木くず又はがれき類の破碎施設 (KOMATSU BR350JG)

設置場所：岡山県美作市巨勢1247番16

設置年月日：平成16年1月29日

処理能力：がれき類 1,320 t/日 (8時間)

許可年月日：平成15年12月9日

許可番号：第9-(8の2)-3号

3. 許可の条件

(1) 事業場の所在地：岡山県美作市巨勢1247番16

(2) 事業場の面積：1,200㎡

4. 許可の更新又は変更の状況

平成16年2月16日 新規許可

令和6年2月16日 更新許可

5. 規則第10条の4第7項の規定による許可証の提出の有無

無